

▼カラカミ遺跡から出土した弥生土器



◀2000年前の弥生時代の遺跡を調査する（壱岐カラカミ遺跡）

人類は創造によって他の動物に比べ秀でた高度な文明社会を築いたといわれる。その文明社会においても、様々なひずみが我々の現代社会を脅かしている。

人類の創造は物質文化によく反映されており、創造の産物が無機物の物質として残っていく。これが遺物である。遺物は社会や歴史の様々なコンテクストを反映しており、技術的な進歩を含む社会進化の過程を示している。また、同時に人間の創造がどのような原因や理由によって生み出されたのかを考える必要がある。一方、物質文化は形而下の世界であるが、この物質からこれを形作った人間の思考や思想・宗教のような形而上世界を垣間見することも可能である。

また物質文化において物質は単独に存在するのではなく、空間上有機的な関連性が存在している。こうした空間的な関係性が現在に残っているものが、遺構や遺跡である。遺跡は人間社会の歴史を反映しているだけでなく、自然や環境の歴史をも反映している。遺跡を通して、**人間と社会、人間と自然のあり方を考える**ことができる。こうして我々の現代社会を過去から見つめ直すことができ、人間そのものを問い直すことができるのである。

（宮本 一夫、考古学）

モノを見つめる意味